



毎度ありがとうございます。明昌の宮崎です。10月といっても、気象予報では真夏並みの暑さが残るとの情報です。地域が限定されず、今までに経験のない異常な豪雨による被害も増えていて、決して他人ごとではないと感じなければならぬ状況です。明日は我が身と捉えて行動する必要がありますね。皆さまくれぐれもお気をつけてお過ごしください。さて今号はロス削減への取り組みを中心に特大号でお届け致します！

## アニロックスロールによるメリット

弊社販売のアニロックスロールを長年ご使用いただいているお客様からのお声を集めてみました。アニロックスロールは印刷においては心臓部とも言えます。目詰まりや印刷トラブルを回避できている事例もございます。是非参考にしてください。

### ★段ボール工場のお客様からのお声

#### 【GTT 導入】

「あれこれ調整しなくても綺麗な印刷ができる」「泡立ちやマージナル、ピンホールが減った」  
「細かい所まで綺麗に再現出来る」「印刷デザインで、以前は小さ過ぎる文字のデザインはフォント変更をお願いしていたが、GTT 導入後はお願いしなくて済むようになった」

いいね!



#### 【ハニカム導入】

「洗浄性が良くなった」「ベタのノリが良くなった」「容積によって形状が選べるのが良い」

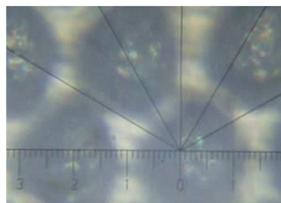
### ★輪転印刷工場のお客様からのお声

#### 【GTT 導入】

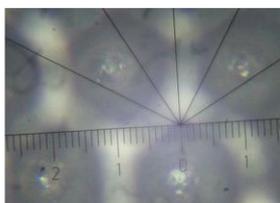
「アイテムによってロール交換の必要が無くなった」「工程替えの時間短縮が図れて効率が良くなった」  
「安定したインキ転移量だから印刷途中の版洗浄をしなくてもロングランできるし、スピードも上げられる」「同じ色でもデザインに合わせて版を2版にしなければならないものもあったが、1版に出来るようになった。」

### ハニカム形状

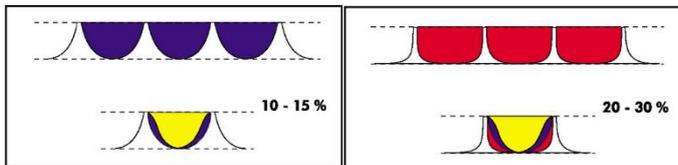
現在はYAGレーザーが主体となっておりますが、パルス(複数照射)レーザーであることから彫刻した表面の凹凸が出やすくなります。これがインキの転移性や洗浄性に大きく関わってきます。そこで、弊社取り扱いメーカーは、彫刻直後に微弱の熱をかけて溶かす技術『ウルトラメルトテクノロジー』を標準にしています。これによって彫った面が凸凹にならず、インキの転移性と洗浄性がアップします。



ウルトラメルト無し



ウルトラメルト有り



希望のセル線数と容積に合わせて選べる形状

### GTT 形状

GTT 形状はエイペックス社の特許技術で、ハニカム形状などのパルスレーザーではなく、コンスタント(連続照射)レーザーなので、パルスで発生するような凸凹はありません。また、画期的な波型形状によってインキの流動性が良くなるので、インキ転移や洗浄性はハニカム形状と比較して良くなります。チャンバー機で問題となるインキの泡立ちの点も、GTT 形状であれば格段に減ります。ベタ印刷と細字を兼ねたデザインに対しては、GTT 形状の得意分野です！ベタの中の抜き文字やグラデーションの美しさは抜群です！



国内印刷サンプルが多数ございますので、ご興味のある方は是非お声がけください！

セル線数や容積設定などのご相談も、弊社スタッフが承ります。お気軽にお声がけくださいませ！

# 10月・11月に起きやすいトラブルを予防しましょう!



早朝や夜は若干涼しさを感じてまいりました。近年のように急激に寒さが強まるといった環境の変化によって、印刷トラブルも多発します。季節の変わり目は、どうしてもトラブルが出やすくなります。毎年のように印刷現場で起きているトラブルをまとめてみました！予防策を立てて頂いて、ロス削減への取り組みにして頂けると幸いです。

1. 工場内が乾燥し始めて紙粉が舞い、これがインキ缶に入ってインキを腐らせたり、ピンホールの印刷不良やアニロックスロールの強固な目詰まりを引き起こしたりする。
2. 11月は急激に気温が低下して、インキも冷えて硬くなり粘度上昇するので、印刷途中の色の濃淡変化が起きやすい。
3. 夏用インキから冬用インキに変わり、乾燥性が変わることでアニロックスの目詰まりやインキ飛散が起きやすくなる。
4. 気温低下すると、アニロックスや印版へのインキの馴染みが悪くなるので、刷り出しに不良が出やすい。
5. 洗浄水が冷えて、色替え時の水洗浄効果が低下し、インキがアニロックスに残りやすくなる。



**解決策!** まずは…下の3点に気を付けてみましょう!



やってみよう!

## 1. オクセルでの日常洗浄

何とんでもオクセルでの日常洗浄は必須です! 毎日10~15分徹底しましょう!

## 2. インキの状態確認

気温の変化を意識して、インキの状態確認をすることです。気温が下がるとインキの液温も下がります。インキの液温が低下すると粘度上昇してしまうので、加水するのではなく、まずはしっかりと混ぜてください。真冬でなければMIXスパイラルで攪拌しただけでも、インキは柔らかくなります。

## 3. 機械洗浄(色替え時)のチェック

気温低下すると機械洗浄の水も冷えます。落ちにくい色(白や白顔料を多く含む色など)は、機械洗浄の秒数が回数を増やすなどのコントロールをしましょう。水洗浄の量が少ない印刷機の場合は、水洗浄の前にお湯循環もお勧めです。

ロス削減は利益確保の第一条件ですから、未然に防ぐための準備をお勧めしています。まずは気温の変化! インキの液温や印刷機、印版の状態が変化しやすくなります。気温をチェックして、インキの状態確認をしましょう。気温が20度を下回ってくると、インキの状態も変化しやすくなります。気温によって乾燥状態も変化してきますから、シートの状態、紙粉の除去などにも配慮してみてください!



フレキシソ印刷と共に72年 ~明日を見つめて 明日を拓く~



明昌株式会社

<http://www.meisho-c.co.jp>

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島1-14-10 (阪急電車・南方駅から徒歩1分)

TEL: 06-6304-8340 FAX: 06-6305-6788 E-mail: [contact@meisho-c.co.jp](mailto:contact@meisho-c.co.jp)